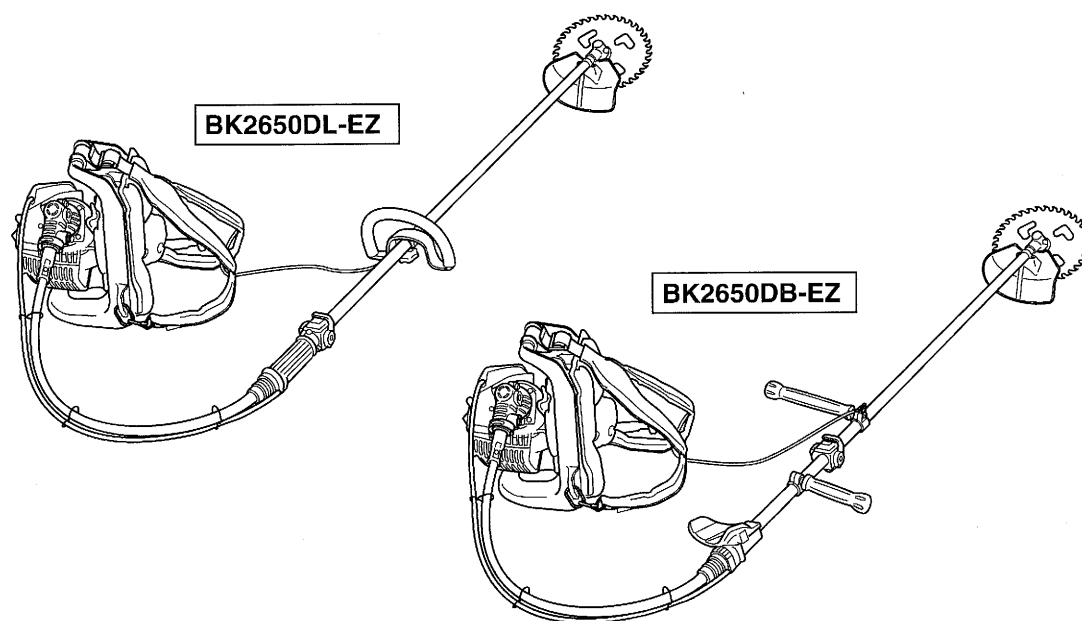
848-BC0-93A0（E1/A501）

くるくるカッター ゼノア背負式刈払機

ゼノア刈払機 取扱説明書

BK2650　BKV2650

BKV2650 は雑草専用刈払機です、太いかん木や竹の切り払い、山林の下刈り、徐伐などには絶対に使用しないでください。

⚠ 注意	● 製品をお使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。 ● 取扱説明書は大切に保管してください。

コマツゼノア

操作装置のシンボルマーク

運転操作及び保守管理のために、操作装置のシンボルマークが使用されています。
これらの表示に従って誤操作のないようご注意ください。

マーク表示部位	図　柄	意　　　味
燃料タンクキャップ		使用燃料の種別が「混合ガソリン」であることを表わします。
エアクリーナカバー		このマークの方向にレバーを操作するとチョークが閉じることを示します。
		このマークの方向にレバーを操作するとチョークが開くことを示します。

は じ め に

このたびはゼノア製品をお買い上げいただきありがとうございました。

この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買い上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。

また、お読みになった後必ず大切に保存し、分からないことがあった時には取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

BKV2650 は雑草専用刈払機です、太いかん木や竹の切り払い、山林の下刈り、徐伐などには絶対に使用しないでください。

安 全 第 一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

■ 注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

： 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

： 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

： 注意事項を守らないと、けがを負う恐れがあるものを示します。

重 要 **： 注意事項を守らないと機械の損傷や故障の恐れがあるものを示します。**

補 足 **： その他、使用上役立つ補足説明を示します。**

目　次

⚠ 正しくお使いいただくために …… 1
警告ラベルとその取扱い …… 6
サービスと保証について …… 7
製品主要諸元 …… 8
各部の名称 …… 9
標準付属品 …… 9
組立
背負いバンドの取り付け …… 10
フレキシブルシャフトと本機の接続（DL）…… 10
ハンドルの取り付け（DL）…… 11
ハンドルの取り付け（DB）…… 11
フレキシブルシャフトと本機の接続（DB）…… 11
ひじあての取り付け方（DB）…… 12
バーハンドルの位置調整（DB）…… 12
スロットルワイヤの遊び調整 …… 13
飛散防護カバーの取り付け …… 14
刈刃の取り付け …… 15
刈刃の種類と推奨用途 …… 16
ナイロンカッタ（別売）の取り付け方 …… 16
燃料 …… 18
給油 …… 19
エンジンのかけかた …… 20
エンジンのとめかた …… 23
操作方法
背負い方 …… 24
竿の操作 …… 25
刈り払い作業 …… 26
点検整備
作業前後点検 …… 27
定期点検 …… 27
刈刃 …… 28
エアクリーナ …… 29
燃料フィルタ …… 29
スパークプラグ …… 30
冷却用空気通路 …… 31
ギヤケース …… 31
フレキシブルシャフト …… 32
使用 100 時間毎の手入れ …… 33
エンジンの調整 …… 33
長期保管時の手入れ …… 34
故障のときは …… 35

正しくお使いいただくために

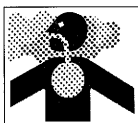
本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み理解した上で正しく取扱ってください。快適に作業をするため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「 警告サイン」として説明のつど取り上げております。

■ 製品をお使いになる前に

- ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり、製品の機能と取扱い上の注意事項をよくご理解ください。

- 本製品は地表の雑草刈りを用途として設計されています。不測の事故を招く恐れがありますので、本来の用途以外の目的(樹木の枝落しや植え込みの剪定、材木の切断など)には使用しないでください。

- 本製品は高速回転する刃物を装備しているため、操作を誤ると非常に危険です。
  疲労などで体調が悪い場合や、カゼ薬服用時、飲酒後など、正常な判断と的確な操作が出来ない恐れがある場合は、本製品を使用しないでください。また、本書の内容が理解できない人や子供には絶対に使わせないでください。

- エンジンの排気ガスには人体に有害な一酸化炭素が含まれています。
  屋内やビニールハウス、トンネル内など、通気の悪い場所では本製品を使用しないでください。

- 次のような場合はお使いにならないでください。

  ① 足元が滑りやすいなど、安定した作業姿勢の保持が困難な場合
  ② 霧や夜間など、作業現場周辺の安全確認が困難な場合
  ③ 天候悪化時(降雨、強風、雷など)

- 初めてお使いになる場合は、実作業に入る前に熟練者から製品の取扱い指導を受けてください。

- 疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因となります。作業計画にはゆとりを持たせ、1回の連続作業時間は30～40分を限度とし、10～20分の休憩を取ってください。また、1日の作業時間は2時間以内としてください。

（参考）国有林では、作業者の健康管理のため、次のような基準が設けられています。

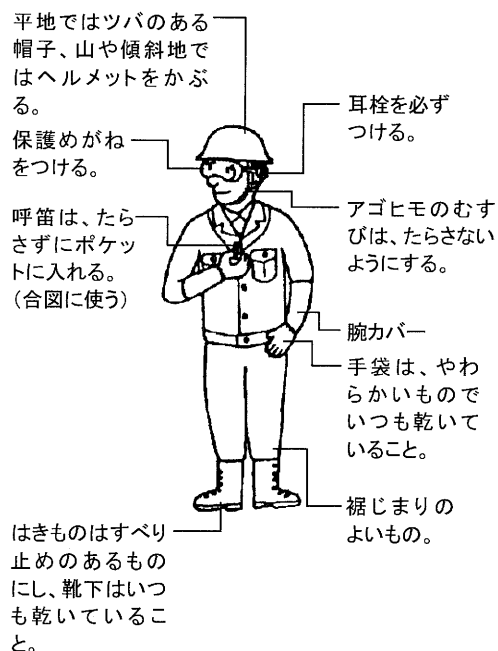
作業は連続3日を限度として

1回の連続作業時間	30分	以内
1日の作業時間	2時間	以内
1週の作業日数	4日	以内
1月の作業時間	32時間	以内

- この取扱説明書は必ず保管して、分らないことがあった場合など必要に応じてご参照ください。

- 本製品を譲渡または貸与する際は、この取扱説明書を必ず添付してください。

正しくお使いいただくために

■ 使用時の服装・装備

● 本製品をお使いになる際は、屋外作業にふさわしい服装を整え、次の用品を着用してください。

① 作業帽子(傾斜地作業時はヘルメット)
② 保護めがねまたは顔面防護ネット
③ 丈夫な手袋
④ 滑りにくく丈夫な靴
⑤ 耳栓(特に長時間作業時)

また、次の用品を携行してください。

① 製品付属工具および目立てヤスリ
② 適切な容器に入れた燃料
③ 交換用刈刃
③ 作業区域表示用具(ロープ、立て札等)
④ 呼笛(共同作業時や非常時の合図用)
⑤ なた、手のこ(障害物除去用)

● 裾じまりの悪い衣服や裸足、サンダル、草履などでの作業はしないでください。

■ 燃料に関する注意事項

● 本製品のエンジンは、引火しやすいガソリンを含む「混合ガソリン」を燃料としています。
焼却炉、バーナー、たき火、かまど、電気スパーク、溶接火花など、引火の恐れがある場所では、燃料の補給をしたり燃料容器を保管したりしないでください。

● くわえタバコでの作業や燃料補給は危険です。絶対にしないでください。

● 燃料の補給や保管容器への注入作業は屋外の平坦な場所で行ってください。
通気の悪い屋内で給油作業をすると気化した燃料に引火する恐れがあります。

● 使用中に給油する場合は、必ずエンジンを停止し、周囲に火気がないことを確かめてから燃料を補給してください。

● 給油後は、燃料容器を密閉してから、3m以上離れた場所でエンジンを始動してください。

● 給油時に燃料がこぼれた場合は、エンジンをかける前に、機体に付着した燃料を完全にふき取ってください。

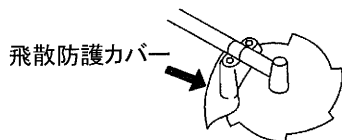
正しくお使いいただくために

■ 使用前の注意事項

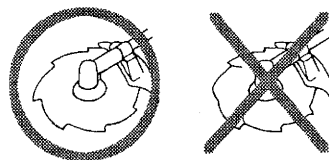
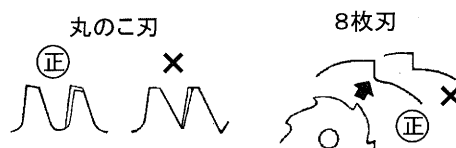
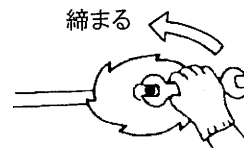
● 作業を始める前に現場の状況（地形、刈り払う草の性質、障害物の有無、人や動物の立入る可能性など）をよく確かめ、移動可能な障害物は除去してください。

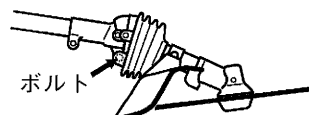
● 作業者から15m以内を危険区域とし、この中に人が立ち入らないよう標識ロープで囲む、立て札を立てる等の警告表示をしてください。また、数人で共同作業を行なう場合は、緊密に合図しあうなどして常に安全間隔を確保してください。

● 作業を開始する前に機体各部を点検し、ネジ類のゆるみ、燃料漏れ、損傷、変形などの異常がないことを確かめてください。特に刈刃および刈刃取付部は入念に点検してください。

● 飛散防護カバーを取り外した状態で使用しないでください。

● 刈刃は、作業条件に合わせてゼノア純正品の中から適切なタイプを選択使用してください。（詳細は本文16ページ参照）

● 刈刃はよく目立てされたものを使用してください。

● 刈刃は、欠け、ひび割れ、曲がりなどがないことを確認してから使用してください。異常のある刈刃は絶対に使用しないでください。

● 刈刃を目立てするときは割れ防止のため必ず刃元に丸みをつけてください。

● 刈刃取り付け時は本書または刈刃付属の取り付け要領に従って正しく取り付けてください。

● 刈刃を締め付け後、手回しして振れや異音がないことを確かめてください。
振れがあると異常振動や刈刃取付部ゆるみの原因となり非常に危険です。

● 可変ケース部のボルトにゆるみがないか確認してください。（BKV2650）

正しくお使いいただくために

■ エンジン始動時の注意事項

●エンジンを始動する時は周囲（15m以内）の安全をよく確かめてください。

●本製品は遠心クラッチを装備しているため、スロットルレバーを「始動」位置にセットしてエンジンをかけると、始動と同時に刈刃が回り始めます。始動時は機体を地上において、刈刃やスロットルレバーが地面や周囲の障害物に触れないよう機体をしっかり押えてください。

●スロットルレバーを「高速」位置にしてエンジンを始動しないでください。

●スタータノブを引いた後、遅れてエンジンが始動することがあります。始動するまで機械を押えていてください。

●エンジンを始動する際に、
- ・スタータノブが軽く引けなかったり、戻らずにスタータロープが垂れる。
- ・スタータノブを引いてもエンジンがかからない。
- ・エンジンが10秒以上遅れて始動する。

等のときは、スパークプラグを必ず取り外して、分解せずにそのままお買い上げ店にご相談ください。

注意）<u>スパークプラグが付いたままだと、不意にエンジンがかかる恐れがあります。</u>

●エンジン始動後、スロットルレバーを完全に戻した状態で刈刃が回らないことを確かめてください。刈刃が回り続ける場合はエンジンを停止し、スロットルワイヤ他の点検整備を行なってください。

■ キックバックに関する注意事項

●キックバックとは、高速回転している刈刃が石や樹木、コンクリート、杭、支柱など硬くて切れない固定物に触れた際に、反作用で機体が瞬間的に大きく振られる現象をいいます。
キックバックが起きると機体が思わぬ動きをするため、正常な操作ができなくなる危険があります。キックバック防止のため、以下事項を必ず守ってください。

① 作業前にキックバックの恐れがある障害物の位置を確かめ、その周囲の草を取り除いて分かりやすくしておくこと。

② 始動時可変ケースは角度を正規位置に戻してください。（BKV2650）

③ 作業時は、機体のハンドルグリップ部以外を持って操作しないこと。

④ 作業中は刈刃から目を離さないこと。目を離す必要がある場合はスロットルレバーを「低速」位置に戻すこと。

⑤ 刈刃が足元に近づいたり腰より上になるような機体操作はしないこと。

■ 運搬時の注意事項

●金属製刈刃使用時は、刈刃に付属の刈刃カバーを装着するか、適切な覆いをしてください。

●車で運搬するときは、ロープなどで荷台に確実に固定してください。
危険ですので自転車やバイクでの運搬はしないでください。

●燃料をタンクに入れたまま悪路や長時間の運搬はしないでください。燃料が漏れ出す恐れがあります。

正しくお使いいただくために

■ 作業時の注意事項

- 作業時は機体の握り部（ハンドルグリップ）を両手でしっかり握って操作してください。作業を中断する場合は、スロットルを完全に戻してから手を離してください。

- 刈払作業はゆとりのある安定した姿勢で行なってください。

- エンジンの回転は作業に必要な範囲に保ち、不必要に上げないでください。

- 刈刃に巻き付いた草を取り除いたり、刈刃や機体の点検、燃料補給が必要な場合は必ずエンジンを停止し、刈刃の回転が完全に停止してから行なってください。

- 刈刃が石などの硬いものに当ったときはすぐにエンジンを停止し、刈刃に異常がないか点検してください。
  異常があった場合は作業を中止し、正常な刈刃に交換してください。

- 作業中に後方から声をかけられた場合は、振り向く前に必ずエンジンを停止してください。

- 電気ショックを受ける可能性がありますので、エンジン運転中はスパークプラグやプラグコードに触れないでください。

- 高温によるヤケドの恐れがありますので、エンジン運転中および停止直後は素手でマフラなどの金属部に触れないでください。

- 作業を中断して移動するときは、エンジンを停止し、刈刃を前向きにして持ち運んでください。

■ 整備上の注意事項

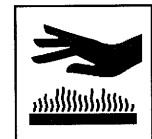
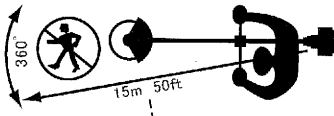
- この取扱説明書では、製品の機能維持に必要な整備について説明しています。本書に記載されていない整備が必要な場合は、お買い上げ店または最寄のゼノア製品取扱店にご相談ください。

- 製品の改造や分解等はしないでください。運転中に機体が破損したり、正常な操作が出来なくなる危険があります。

- 点検整備時は、必ずエンジンを停止してください。

- エンジン停止直後は、素手でマフラやスパークプラグに触れないでください。
  高温のため火傷の危険があります。

- 刈刃の着脱や研ぎ直しをするときは、けが防止のため丈夫な手袋を着用してください。

- 刈刃などの交換用部品や補充用油脂類は、必ず当社純正品または当社指定銘柄品を使用してください。

正しくお使いいただくために

■ 警告ラベルとその取扱い

①品番 Z6420-11590

取扱説明書を読むこと

ヘルメット・保護メガネ・耳栓着用のこと

飛散防護カバーを取り外さないこと

15m以内に人を近付けないこと

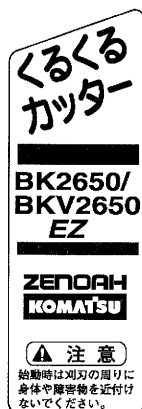
②品番 T1828-31130

くるくるカッター

BK2650/
BKV2650
EZ

ZENOAH
KOMATSU

注 意

始動時は刈刃の周りに身体や障害物を近付けないでください。

③品番 T1812-91190

警告

遅れてエンジンが始動することがあります。
始動するまで機械を押さえていてください。

④品番 T3560-12510（BKV2650 のみ）

【貼付位置】

【ラベルのメンテナンス】

(1) 警告ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。

(2) 警告ラベルが汚損したりはがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。

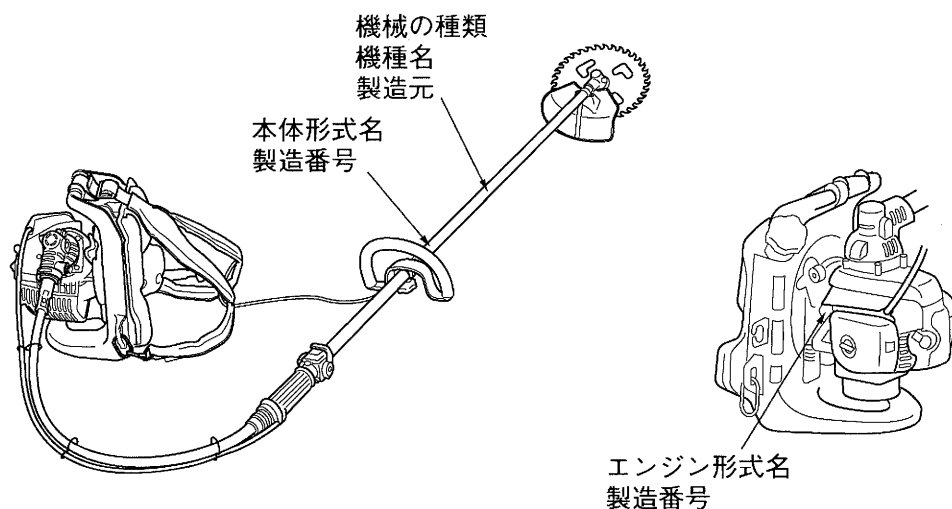
(3) 新しいラベルを貼る場合は汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

サービスと保証について

ご相談窓口

本製品に関するお問い合わせや消耗品のお求め、サービスのご用命は、お買い上げいただいた販売店で承ります。

お問い合わせの際は型式名と製造番号（下図参照）をご連絡ください。

製品およびサービスに関してお気付きの点やご意見等ありましたらお気軽にお近くの弊社営業窓口（裏表紙記載）にお寄せください。

▲ 警 告

機械の改造は危険ですので、改造しないでください。
改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。

製品主要諸元

名称・型式		ゼノア刈払機　BK2650			
		DL-EZ	DL-L(ロング)-EZ	DB-EZ	DB-L(ロング)-EZ
ハンドル形式		ループ		バー	
機械質量※ kg		7.5	7.5	7.8	7.8
背負部寸法(全長×全幅×全高) mm		290×306×336			
操作桿全長-メインパイプ外形 mm		2304-φ24	2424-φ24	2304-φ24	2424-φ24
燃料タンク容量 L		1.1			
標準付属刈刃		チップソー(255mm、40枚刃)			
推奨刈刃		4枚刃、8枚刃、チップソー、ナイロンカッタ(詳細本文16ページ参照)			
動力伝達方式		自動遠心クラッチ、スパイラルベベルギヤ			
減速比		1.67			
刈刃回転方向		反時計回り(作業者から見て)			
エンジン	形式	単気筒空冷2サイクルガソリンエンジン			
	排気量 cm³	25.4			
	使用燃料	潤滑油混合ガソリン 【混合比 ゼノア純正オイル使用時 40:1 または 市販オイル使用時 25:1】			
	使用潤滑油	2サイクルエンジン専用オイル			
	キャブレタ	ダイヤフラム、ロータリーバルブ方式			
	点火方式	自動進角付きCDI			
	スパークプラグ	チャンピオン CJ－6Y			
	始動方式	蓄力式リコイルスタータ(EZスタート)			
	停止方式	点火回路一次側短絡式			
付属品		保護メガネ、吊りバンド、刈刃カバー、整備工具			

名称・型式		ゼノア刈払機　BKV2650	
		DL-EZ	DB-EZ
ハンドル形式		ループ	バー
ギヤケース可変角度		上:10°／下:30°	上:10°／下:30°
機械質量※ kg		8.3	8.6
背負部寸法(全長×全幅×全高) mm		290×306×336	
操作桿全長-メインパイプ外形 mm		2304-φ24	
燃料タンク容量 L		1.1	
標準付属刈刃		チップソー(255mm、40枚刃)	
推奨刈刃		4枚刃、8枚刃、チップソー、ナイロンカッタ(詳細本文16ページ参照)	
動力伝達方式		自動遠心クラッチ、スパイラルベベルギヤ	
減速比		1.67	
刈刃回転方向		反時計回り(作業者から見て)	
エンジン	形式	単気筒空冷2サイクルガソリンエンジン	
	排気量 cm³	25.4	
	使用燃料	潤滑油混合ガソリン 【混合比 ゼノア純正オイル使用時 40:1 または 市販オイル使用時 25:1】	
	使用潤滑油	2サイクルエンジン専用オイル	
	キャブレタ	ダイヤフラム、ロータリーバルブ方式	
	点火方式	自動進角付きCDI	
	スパークプラグ	チャンピオン CJ－6Y	
	始動方式	蓄力式リコイルスタータ(EZスタート)	
	停止方式	点火回路一次側短絡式	
付属品		保護メガネ、吊りバンド、刈刃カバー、整備工具	

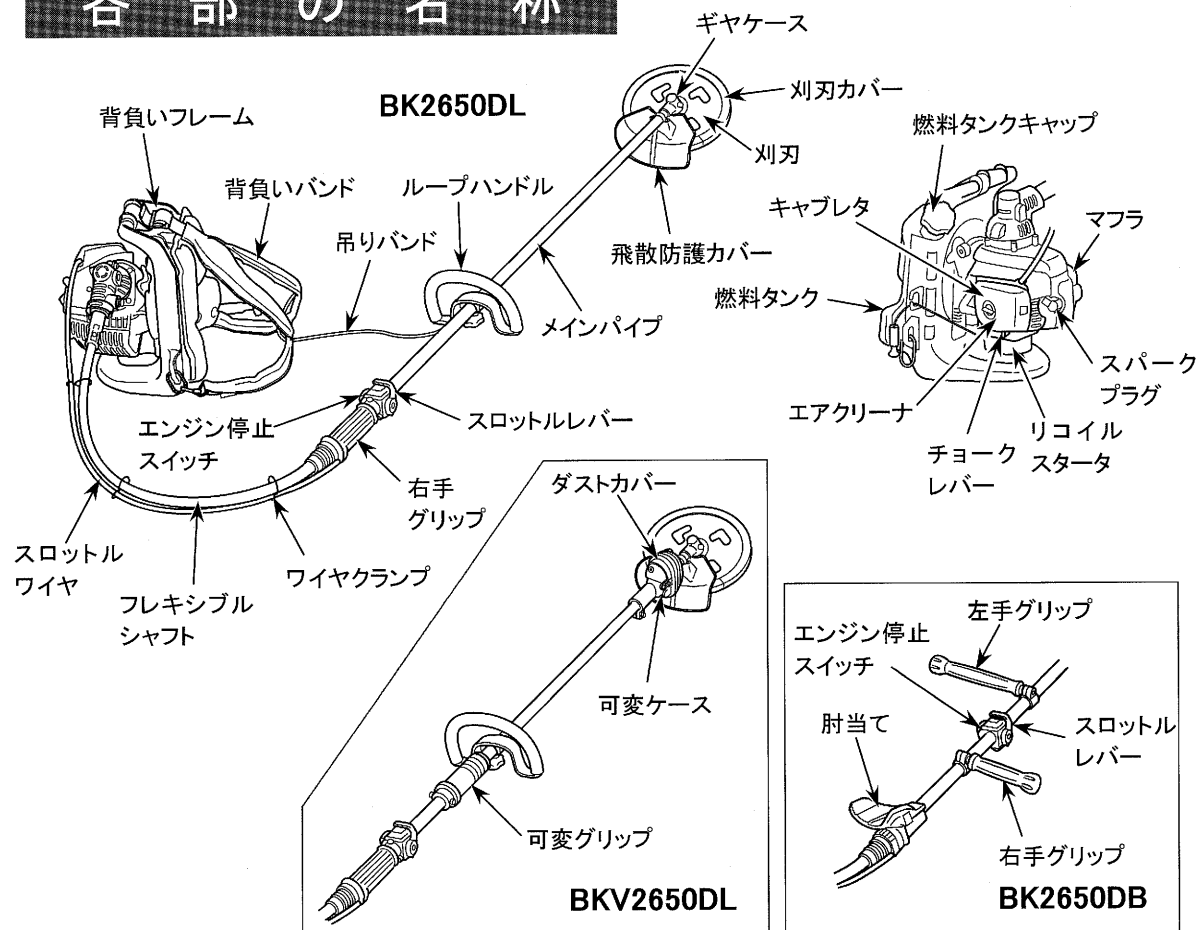
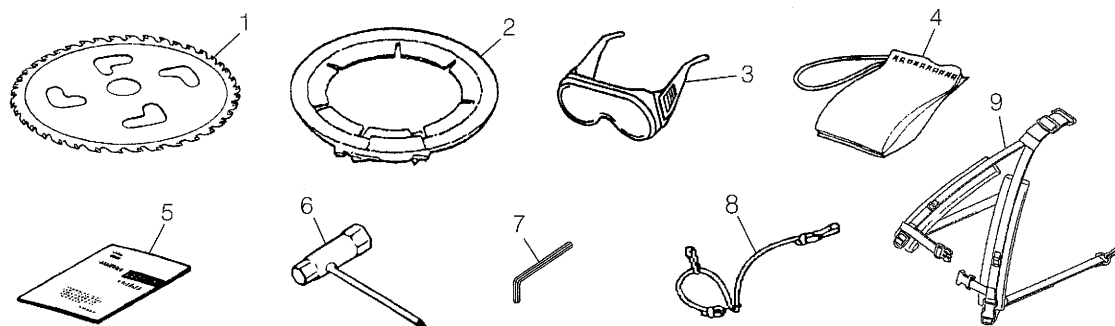
(※) 刈刃、燃料を除く　●改良などにより商品の細部仕様が本書記載内容と異なることがあります。ご了承ください。

各部の名称

BK2650DL

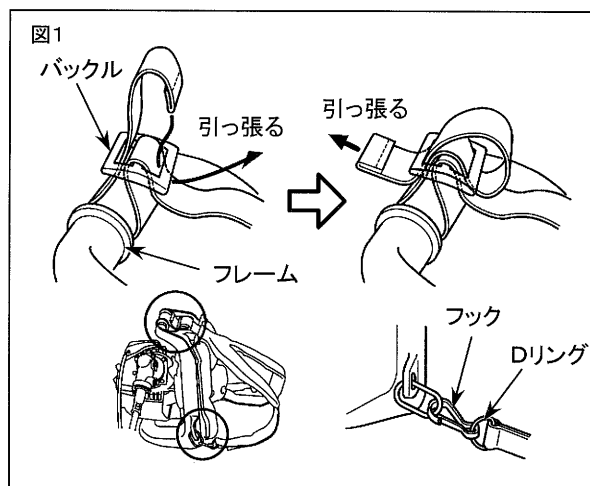
ギヤケース
刈刃カバー
刈刃
飛散防護カバー
背負いフレーム
背負いバンド
ループハンドル
吊りバンド
メインパイプ
エンジン停止スイッチ
スロットルレバー
右手グリップ
スロットルワイヤ
フレキシブルシャフト
ワイヤクランプ
燃料タンクキャップ
キャブレタ
マフラ
燃料タンク
スパークプラグ
エアクリーナ
リコイルスタータ
チョークレバー

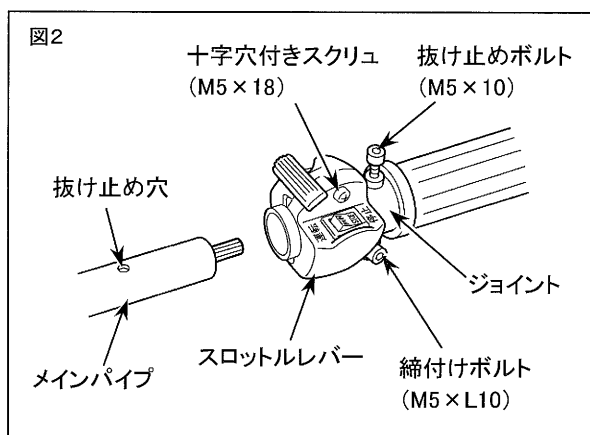
ダストカバー
可変ケース
可変グリップ
BKV2650DL

左手グリップ
エンジン停止スイッチ
肘当て
スロットルレバー
右手グリップ
BK2650DB

標準付属品

図番号	部品番号	品名	数量	図番号	部品番号	品名	数量
1	Z6298-59410	チップソー255-40P	1枚	6	Z3073-91111	ソケット 13×19	1本
2	Z6298-59390	刈刃カバー	1個	7	09007-00425	六角レンチ(対辺 4)	1本
3	T3541-92110	保護メガネ	1個	8	Z3570-37214	吊りバンド)	1個
4	Z3520-91110	刈刃収納バッグ	1個	9	848-F62-3610	背負いバンド	1個
5	T3541-93110	取扱説明書	1冊				

組　立

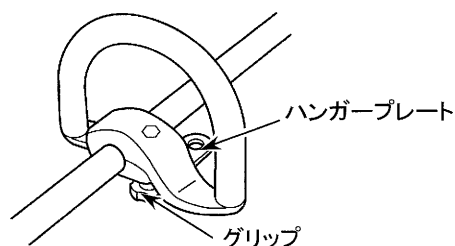
注意	● 組立時は各部品を正しく組み付けてください。組み付けを誤ると事故を招く恐れがあります。 ● ご自身で組立が困難な場合はお買い上げ店にご相談ください。

■背負いバンドの取り付け

1. 背負いバンド上部をフレームの上部溝にかけてから、図１のようにバックルに通し、しっかり止めてください。
2. 背負いバンド下部のフックをフレーム下部のバンド取り付け部にはめてください。

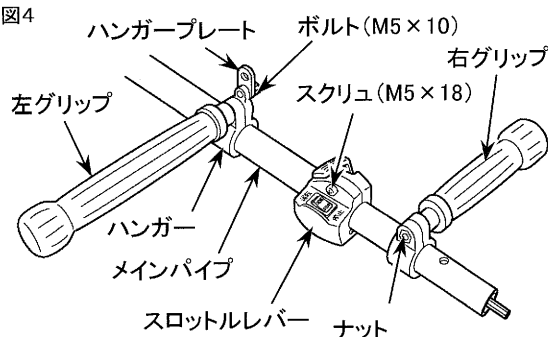
■ フレキシブルシャフトと本機の接続（DL）

1. ジョイント端部中央の抜け止めボルト（M5×10）を取り外し、締付けボルト（M5×L20）及びスロットルレバー取付けスクリュ(M5×L18)を緩めてください。
2. メインパイプを軽く左右に回しながらジョイントに押し込んでください。
3. ジョイントの抜け止め用ネジ穴とメインパイプの穴を合わせてから抜け止めボルトをねじ込み、確実に締め付けてください。
4. ジョイント締付けボルトを締めこんで、メインパイプを確実に固定してください。

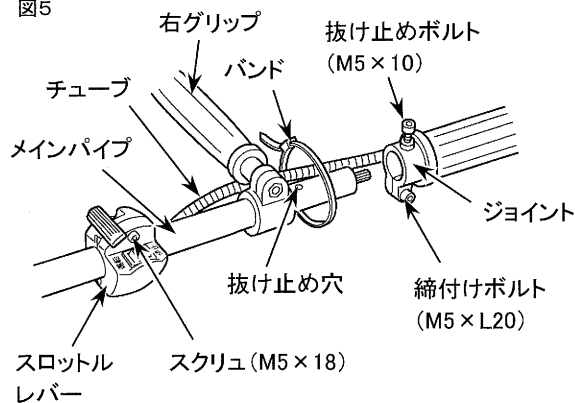
   【締付トルク】 4.9〜7.8N･m(0.5〜0.8kg-m)

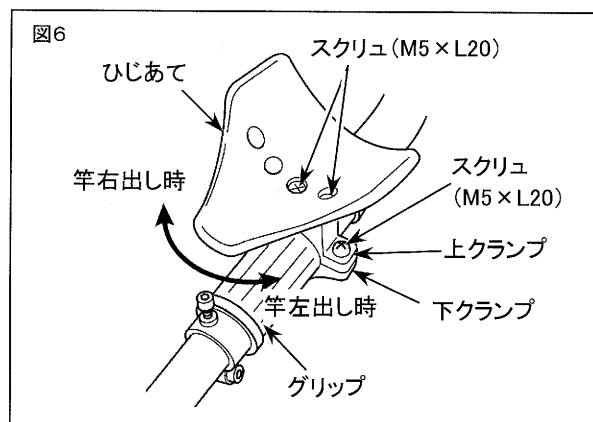
5. スロットルレバー取付けスクリュをねじ込み確実に締め付けてください。

■ハンドルの取り付け(DL)

1. 付属のループハンドルを、号機ラベルに合わせてメインパイプに取付け、グリップを回し軽く締め付けてください。このとき、付属のハンガープレートを図の位置に共締めしてください。
2. ループハンドルの位置を作業しやすい位置に調節し、しっかりと締め付けてください。

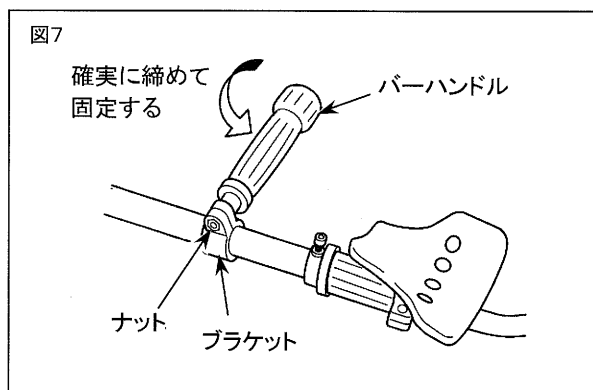
⚠ 危 険	● グリップが緩むと作業中動いてしまい大変危険です。確実に締付けてください。 ● 作業中にグリップを緩めたり、振るような使い方はしないでください。 ● 位置の調整は必ずエンジンを停止し、刃が止まったことを確認してから行ってください。

■ハンドルの取り付け(DB)

1. 付属の左グリップを緩め、メインパイプに挿入し、締め付けてください。
2. 左グリップ用ハンガーに付属のハンガープレートをボルト(M5×10)でしっかりと締め付けてください。
3. スロットルレバー取付けスクリュ(M5×18)を緩めてメインパイプに挿入してください。
4. 付属の右グリップを緩め、メインパイプに挿入し、締め付けてください。

■フレキシブルシャフトと本機の接続(DB)

1. ジョイント端部中央の抜け止めボルト(M5×10)と締付けボルト(M5×L20)を緩めてください。
2. メインパイプを軽く左右に回しながらジョイントに押し込んでください。
3. ジョイントの抜け止め用ネジ穴とメインパイプの穴を合わせてから抜け止めボルトをねじ込み、確実に締め付けてください。
4. ジョイント締付けボルトを締めこんで、メインパイプを確実に固定してください。
【締付トルク】 4.9～7.8N･m(0.5～0.8kg-m)
5. スロットルレバー取付けスクリュをねじ込み確実に締め付けてください。
6. 付属のバンドでチューブを固定してください。

■ひじあての取り付け方（DB）

1. 上クランプ及び下クランプをスクリュ（M5×20）でしっかりと締め付けてください。
2. ひじあてをスクリュ（M5×20）でしっかりと締め付けてください。

補足　竿右出し、左出しで図のように向きを変えてください。

■バーハンドルの位置調整（DB）

バーハンドルは、反時計回りに緩めるとハンドルを前後に移動させることができます。

右手ハンドルの位置は右手の肘をひじあてに当てた状態で自然に握れる位置に固定してください。

危険	● バーハンドルが緩むと作業中動いてしまい大変危険です。確実に締付けてください。 ● 作業中にバーハンドルを緩めたり、振るような使い方はしないでください。 ● 位置の調整は必ずエンジンを停止し、刃が止まったことを確認してから行ってください。

■ スロットルワイヤの遊び調整

注 意 メインパイプ接続後、ワイヤの端部がワイヤ受け金具に正しく収まっていることを確かめてください。ワイヤの端部がワイヤ受け金具に乗り上げていると、スロットルレバーを戻してもエンジン回転が下がらず危険です。

図8

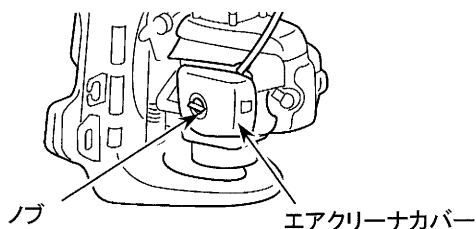
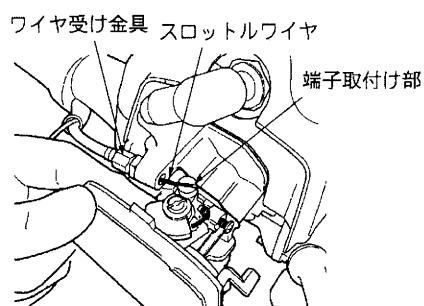



図9

スロットルワイヤの遊びは、スロットルレバーを完全に戻した位置にしてワイヤ受け金具から出ているワイヤスリーブを指でつまんで軽く引いたときに、1〜2mm動く程度であれば適正です。遊びが大き過ぎたり小さ過ぎる場合は、ロックナットをゆるめてワイヤ受け金具の位置を再調整してください（図9）。

● 遊びは、ワイヤ受け金具を右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

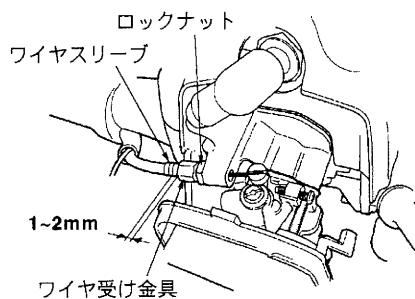
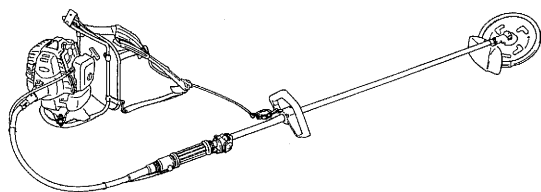
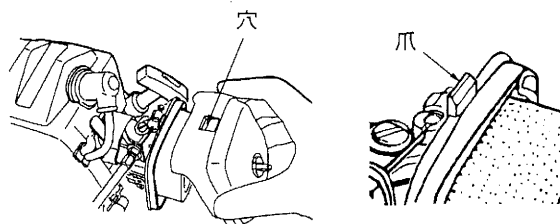
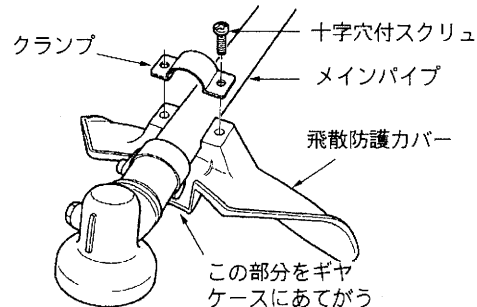
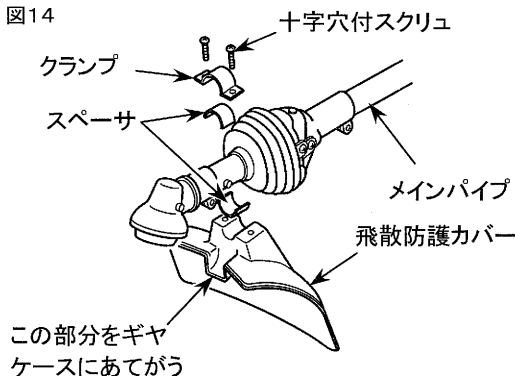
図10

● 調整後はロックナットを締め付けて受け金具を固定してください。

図11

重要 フレキシブルシャフトを曲げるとスロットルワイヤの遊び量が変化します。遊び調整時は、フレキシブルシャフトを作業時に近い状態にしてください。

● エアクリーナカバー取付時は、エアクリーナ本体上部の爪をカバーの穴に入れてからノブを締め込んでください。

■ 飛散防護カバーの取り付け

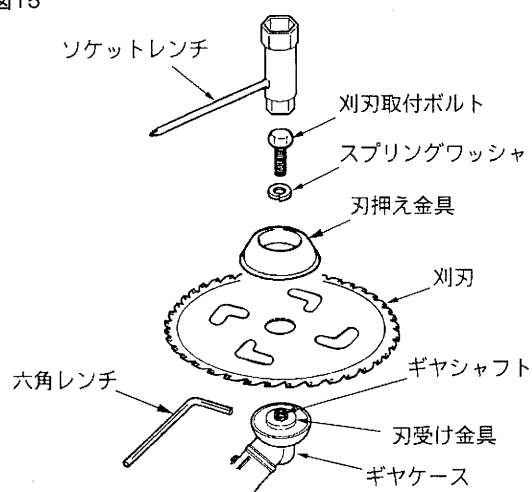
注 意	飛散防護カバーを取り外した状態で使用しないでください。

【BK2650DL／DL－L／DB／DB－L】

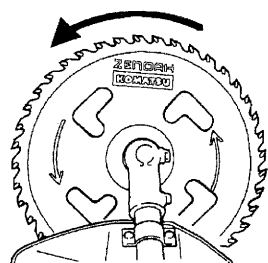
付属の飛散防護カバーの先端をギヤケースにあて、付属のクランプをメインパイプに取り付け、十字穴付スクリュ（M5×25）2本で均等に締め付けてください。

【BKV2650DL／DB】

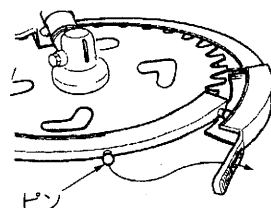
付属の飛散防護カバーの先端をギヤケースにあて、クランプとメインパイプの間にスペーサを取り付け、十字穴付スクリュ（M5×20）2本で均等に締め付けてください。

■ 刈刃の取り付け

	● エンジンをかけたまま刈刃の取り付け取り外しをしないでください。 ● 交換用刈刃および刈刃取付金具類はゼノア純正品をお使いください。 ● 刈刃着脱時は刈払機を確実に固定し、丈夫な手袋を着用してください。 ● 刈刃は、ギヤケース側から見て左回転(反時計回り)します。裏表のある刈刃を使用するときは、刃の向きを確かめてから取り付けてください。特に、チップソーは、逆向きに取り付けると、チップが破損して飛ぶことがあり、危険です。

□金属刃の取り付け方

1. ギヤシャフトに仮締めされている刈刃取付ボルト(左ネジですので、右に回すとゆるみます)と、刃押え金具を取り外してください。
2. 刈刃を、文字のある面をギヤケース側にして刃受け金具にのせ、刈刃の穴を刃受け金具の凸部に正しくはめてください。
3. 刃押え金具を、左図の向きにギヤシャフトにはめてください。
4. 付属の六角レンチで回り止めをしてから、刈刃取付ボルトにスプリングワッシャをはめて、ソケットレンチで確実に締め付けてください。

【締付トルク】
14. 7～19. 6N･m {150～200kgf-cm}

重要 刈刃を上から見て、取付方向に間違いがないか確認してください。

□刈刃カバーの取り付け方

1. 刈刃の刃先を刈刃カバーの溝にはめ込んでからカバーの端をピンで留めてください。
2. 取り外すときは、ピン留めを外し、刈刃カバーを外側に広げるようにして刈刃から外してください。

■ 刈刃の種類と推奨用途

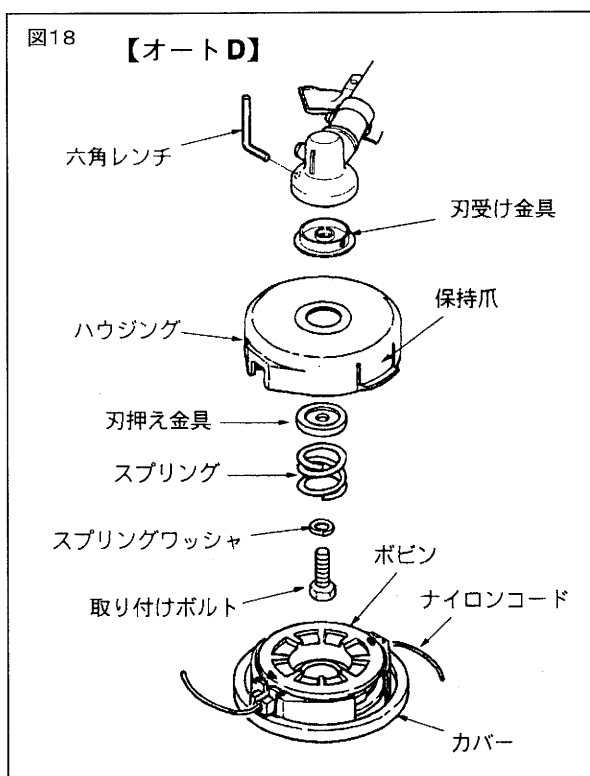
標準付属刈刃以外に、オプションとして各種の刈刃を用意しております。作業用途に合わせて適切な刈刃をお選びください。

種　別			推奨用途	部品番号	品名
金属刃	切込刃	4枚刃	柔らかい雑草	Z6298-14343	ブレードφ 255-4T
		8枚刃	一般雑草	Z6298-15343	ブレードφ 255-8T
	笹刈刃		一般雑草、笹、ススキ、カヤ	Z6298-36312	ブレードφ 255-30T
	チップソー		一般雑草	Z6298-59410	ブレードφ 255-40P(軽量型)
ナイロンカッタ			柔らかい雑草(障害物の多い場所)	BC00074	ナイロンカッタオート Z1-B (繰出式)
				YZDTA01	ナイロンカッタ F(固定式)

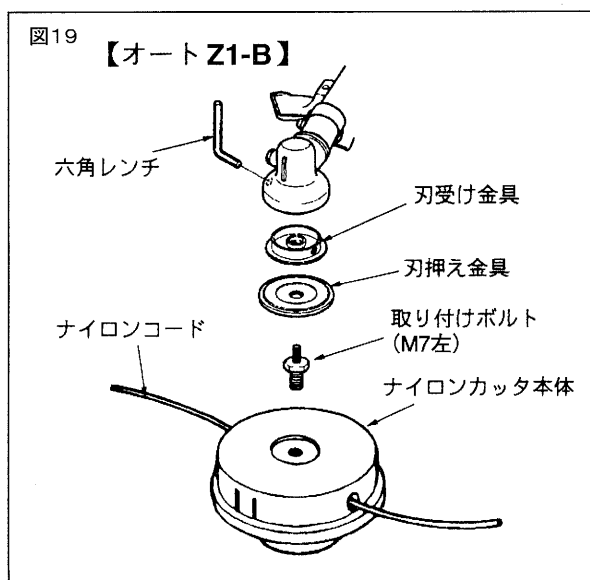
詳しくはそれぞれの刈刃に添付の説明書をお読みください。

■ ナイロンカッタ(別売)の取り付け方

重 要	ナイロンカッタは金属刃より抵抗が大きいため、取扱い操作を誤るとクラッチ部が発熱し変形損傷することがあります。ご使用時は次の点をお守りください。 ● ナイロンカッタはゼノア純正オートZ1－B、オートDをお使いください。市販品をお使いになる場合は本体の外径が10cm以下のものにしてください。 ● ナイロンコードの長さは17cm以下にしてください。 ● 作業時はエンジン回転を高速に保ってください。

□オートDの取り付け方

1. 刈刃取付ボルトと刃押え金具をギヤシャフトから取り外してください。
2. ナイロンカッタのハウジング部の保持爪を指で押しながらカバーを取り外してください。ナイロンコードが巻き込まれたボビンはカバーに付けたままにしてください。
3. ギヤシャフトに刃受け金具を取り付け、ハウジングを刃受け金具にのせてください。
4. ハウジングの内側に刃押え金具を取り付け、刈刃取付ボルトをねじ込み、六角レンチで回り止めをしてからソケットレンチで確実に締め付けてください。
   【締め付けトルク】
   14．7〜19．6N･m ｛150〜200kgf-cm｝
5. カバーを元通りハウジングに取り付け、**保持爪がカバーの溝に完全にかかっていること**を確かめてください。

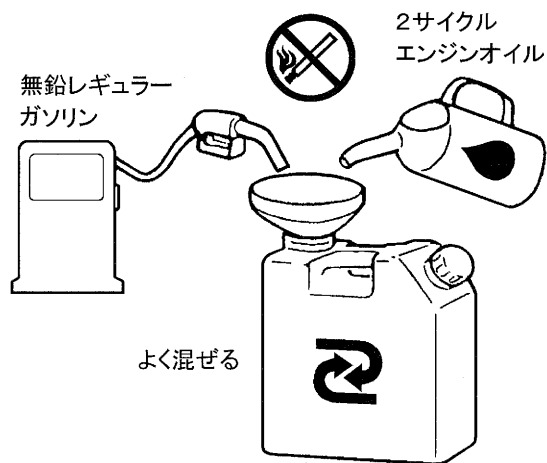
補足　**刈払機に付いていた刃押え金具は金属刃使用時に必要となりますので、紛失しないようにしてください。**

□オートZ1-Bの取り付け方

1. 刃受け金具と刃押え金具をギヤシャフトに正しく取り付け、付属の六角レンチで回り止めをしてください。
2. ナイロンカッタ添付の取付ボルト(M7左)をギヤシャフトにねじ込み、スパナで確実に締め付けてください。
   【締め付けトルク】
   14．7〜19．6N･m ｛150〜200kgf-cm｝
3. 刃受け金具を六角レンチで固定しながらナイロンカッタ本体をボルトにねじ込み、手でしっかり締め付けてください。

補足　**刈刃取付ボルトとスプリングワッシャは金属刃使用時に必要となりますので、紛失しないようにしてください。**

燃　料

⚠ 危 険	● 燃料は非常に引火しやすいため取り扱いを誤ると火災事故の原因となります。また、気化した燃料は爆発して死傷事故を起こす恐れがあります。 ● 燃料の混合時は必ず火気を遠ざけ、タバコは吸わないでください。 ● 混合作業は屋外で行なってください。 ● 刈払機や燃料容器を、たき火やバーナーなどの火気の近くに放置しないでください。

重 要	● オイルが混合されていないガソリン(生ガソリン)を使うとエンジンが焼き付きます。給油時は燃料が正しいか確かめてください。 ● 燃料は紫外線や高温に長時間さらされると変質劣化し、始動不良や出力不足などの原因になります。混合した燃料は、30日以内を目安に使い切るようにしてください。 ● 水が混入した燃料を使うと、キャブレタやエンジンの内部が腐食します。刈払機や燃料容器に水がかからないようにしてください。 ● 4サイクルエンジン用オイルや水冷2サイクルエンジン用オイルは使わないでください。スパークプラグ汚損やピストンリング固着、マフラ詰まりなどを起こしやすくなります。

燃料は、最寄りのガソリンスタンドで「空冷２サイクルエンジン用混合ガソリン」をお求めになるか、自動車用無鉛ガソリンと空冷２サイクルエンジン用オイルを下記割合で混合容器に入れ、容器を振ってよく混ぜ合わせたものを使用してください。

〔混合比〕

□ゼノア純正2サイクルオイル(FC級)使用時

…………………………40：1

(ガソリン４Lに対しオイル100mL)

□市販2サイクルオイル(FB級)使用時

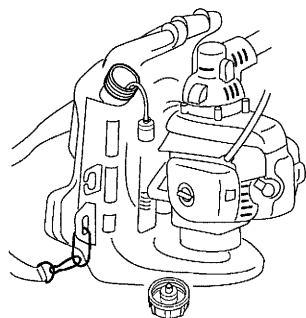
…………………………25：1

(ガソリン４Lに対しオイル160mL)

給　　油

⚠ 危 険	● 燃料タンクへの給油は屋外の平坦な場所で行ってください。 給油時は火気を遠ざけタバコは消してください。 ● 作業の途中で給油する場合は、必ずエンジンを停止し、冷えてから行なってください。 ● 燃料キャップは確実に締め付けてください。 ● 給油時にこぼれた燃料はエンジンを始動する前に布でよくふき取ってください。

重 要	燃料タンクへの給油量は、8分目を目安にしてください。 燃料を入れ過ぎると、運転時にタンクキャップから燃料がもれる恐れがあります。

図21

1. 給油する刈払機を屋外の平坦な場所に置き、安定させてください。
2. 燃料タンクのキャップを少しゆるめ、燃料タンク内と外部の気圧差を取り除いてください。
3. 燃料タンクのキャップを取り外し、八分目を目安に少しずつ給油してください。
4. 給油が終わったらタンクキャップを確実に締め付けて、燃料漏れのないことを確認してください。

エンジンのかけかた

 危 険

- 燃料を補給後エンジンを始動する場合は、機械を給油した場所から 3m 以上離れた場所に移してから始動してください。給油した場所で始動すると引火による火災のおそれがあります。
- 室内や換気の悪い場所ではエンジンを始動しないでください。人体に有害な一酸化炭素中毒のおそれがあります。

警 告

- エンジンの始動、停止時、移動時は常にスロットルレバーをアイドリング位置にしてください。レバーがアイドリング位置以外になっていると、刈刃が回転し始めてしまうので非常に危険です。
- 遅れてエンジンが始動することがあります。始動するまで機械を押えていて下さい。
- エンジンを始動する際に、
  ・スタータノブが軽く引けなかったり、戻らずにスタータロープが垂れる。
  ・スタータノブを引いてもエンジンがかからない。
  ・エンジンが 10 秒以上遅れて始動する。
  等のときは、スパークプラグを必ず取り外して、分解せずにそのままお買い上げ店にご相談ください。

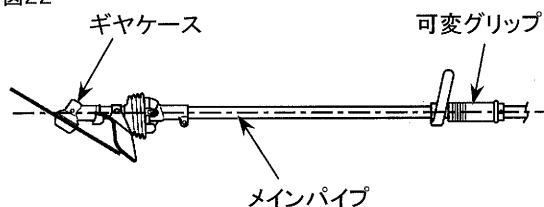
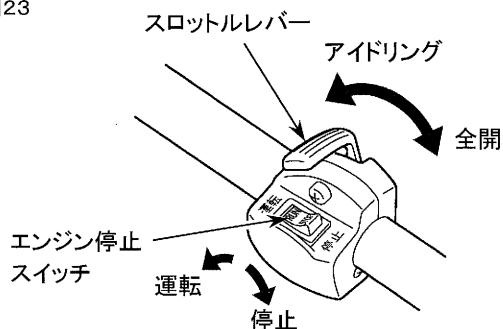
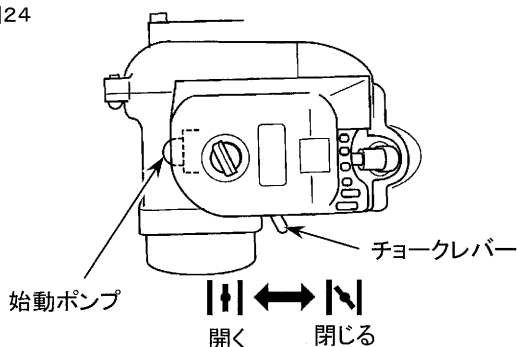
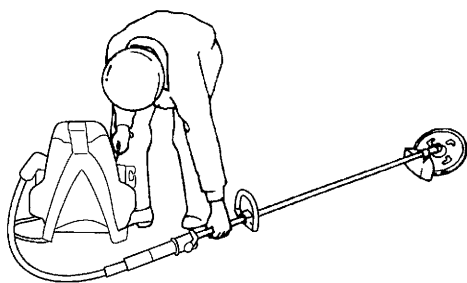
注意)スパークプラグが付いたままだと不意にエンジンがかかる恐れがあります。

 注 意

- 始動前に機体各部を点検し、ハンドル取付部のゆるみやスロットルレバーの作動不良、刈刃取付部のゆるみや燃料漏れなどの異常がないことを確かめてください。
- 始動時は機体を地面に置いて確実に保持してください。刈刃が地面や周囲の障害物に触れる危険がありますので、機体を片手で持上げたまま始動しないでください。
- スロットルレバーを引いた状態でエンジンを始動しないでください。
  始動と同時に刈刃が動き始めますので非常に危険です。始動時は機体を安定した地面におき、刈刃の周囲から障害物を遠ざけてください。
- 始動時は刈刃が地面に触れないようにし、周囲の障害物を遠ざけてください。
- スロットルレバーを完全に戻しても刈刃が回り続ける場合は、エンジンを停止してスロットルワイヤおよびキャブレタのアイドル調整スクリュを点検してください。
- エンジンがかかったら刈刃が動かないことを確認してください。
  刈刃が動き続ける場合は、エンジンを停止してスロットルワイヤおよびキャブレタのアイドル調整スクリュを点検してください。
- 運転時は常に両手でグリップ部を握り、刈刃から目を離さないでください。
- 火傷の恐れがありますので運転中および停止直後はエンジン本体やマフラの金属部に触れないでください。
- 感電によるショックを受けることがありますので運転中はスパークプラグやプラグコードに手を触れないでください。

重 要

チョークを閉じたまま始動操作を繰り返すと、スパークプラグの電極がぬれてエンジンがかからなくなることがあります。このような場合は、チョークを開いてからスタータロープを繰り返し引くか、スパークプラグを取り外して電極を乾かしてから始動操作をやり直してください。

■ 冷えたエンジンの始動

1. 先端のギヤケースとメインパイプが水平になるように可変グリップを操作してください。(BKV2650DL／DBのみ)(図 22)

重要 **刈刃が下を向いたままの場合、刈刃が地面に近くなります、必ず水平に戻してください。**

2. エンジン停止スイッチを「運転」側にしてください。

3. スロットルレバーを「アイドリング」にセットしてください。(図 23)

4. キャブレタの始動ポンプ(図 24)でキャブレタに燃料を満たします。燃料が透明なパイプを通ってタンクに戻り始めるまで、ポンプを指で押して離す操作を繰り返してください。

補足 **タンクに燃料が残っている状態でエンジン停止直後に再始動する場合にはポンプ操作は必要ありません。**

5. エアクリーナ下側のチョークレバー(図 24)を閉じてください。

補足 **エンジン停止直後に再始動する場合はチョークを開いたままスタータロープを引いてください。**

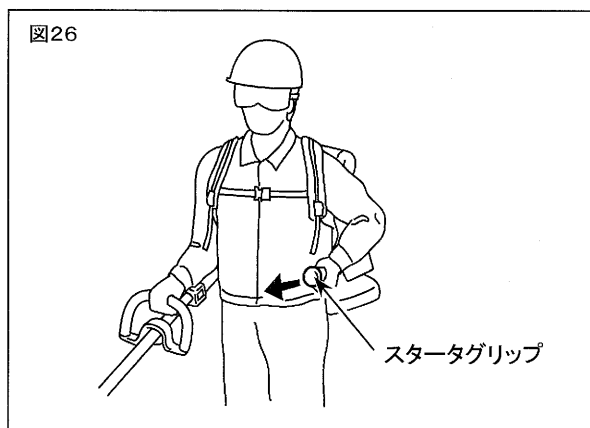
6. 機体を安定した地面におき、刈刃の周囲の安全を確かめてから、左手でメインパイプを握り、右足をフレーム部にかけながらスタータノブを引いてください。(図 25)

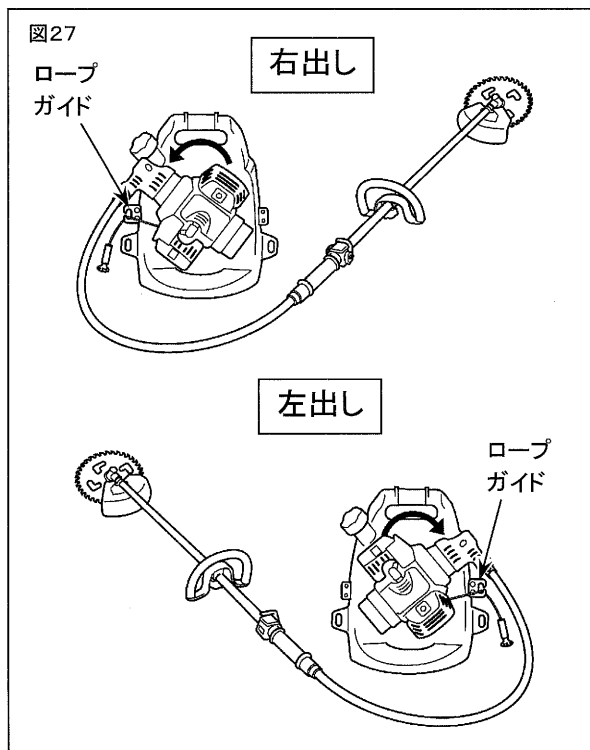
重要 **スタータ故障の原因となりますので、ロープを一気に全部引き出したり、ノブから手を離して戻したりしないでください。**

7. エンジンが始動したらチョークを徐々に開いてください。

8. 本格運転前に 2〜3 分間低速で暖機運転してください。

重要 **チョークを閉じたまま始動操作を繰り返すと、スパークプラグの電極がぬれてエンジンがかからなくなることがあります。このような場合は、チョークを開き、スロットルレバーを全開に近い位置にセットしてからスタータロープを繰り返し引くか、スパークプラグを取り外して電極を乾かしてから始動操作をやり直してください。**

■ 暖まっているエンジンの始動

暖まっているエンジンは、背負ったまま始動することができます

1. エンジン停止スイッチを「運転」側にしてください。
2. スロットルレバーを「アイドリング」の位置にセットしてください。
3. チョークレバーは「開」の位置にします。
4. 右手で操作桿をしっかり支え、刈刃が地面などに触れないようにしてください。
5. 左手でスタータグリップを引いてください。

補足　この刈払機は右出し、左出し両方の操作が可能です。出荷時のロープガイド位置は右出し用に固定してあります。

左出しの場合は右手でリコイルスタータを引きますので、ロープガイド位置を図のように付け直してください。

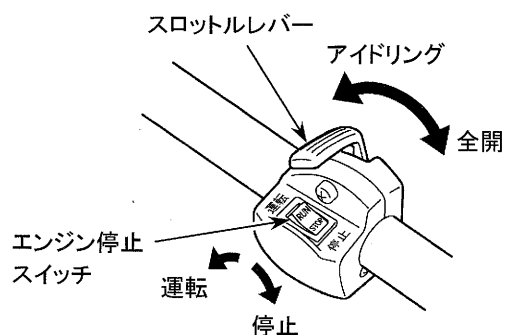
右出しから左出し、または左出しから右出しに竿を持ち換える場合は、必ずエンジンを停止し、背負いフレームを地面に降ろしてから竿の向きを変え、背負い直してください。

注 意	● 背負ったまま竿を持ち変えないでください。 思わぬけがをする危険があります。

エンジンのとめかた

⚠ 注 意	● 緊急時は直ちにエンジンの停止操作をしてください。 ● 刈刃はエンジン停止後も惰性でしばらく回ります。完全に止まるまで触れないでください。 ● エンジン停止直後はマフラやスパークプラグに素手で触れないでください。高温のため火傷の危険があります。

重 要	エンジン回転数を上げたまま停止操作をするとエンジンに無理がかかります。 緊急時以外はスロットルレバーを戻してエンジン回転数を下げてから停止操作をしてください。

図28

1. スロットルレバーを完全に戻してください。
2. エンジン停止スイッチを「停止」側にしてください。

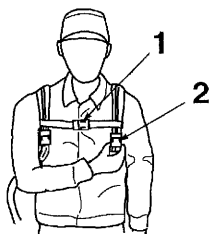
操 作 方 法

⚠ 注 意	● 使用時は、本書の「正しくお使いいただくために」(1〜5 ページ)記載の注意事項を守って正しく操作してください。 ● 刈払機本体を背負うときは、スロットルレバーがアイドリング位置にあることを確かめ、スロットルワイヤがねじれて引っ張られないよう注意してください。また、刈刃が地面につかないよう注意してください。

重 要	作業時は刈刃を障害物に打ち当てないように注意してください。高速回転している刈刃を木の幹や切り株、石などに強く打ち当てると、刈刃や駆動部が損傷したりメインパイプが曲がったりする恐れがあります。

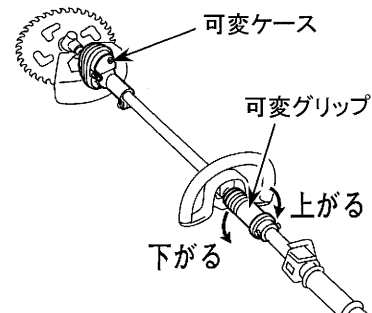
■ 背負い方

図29

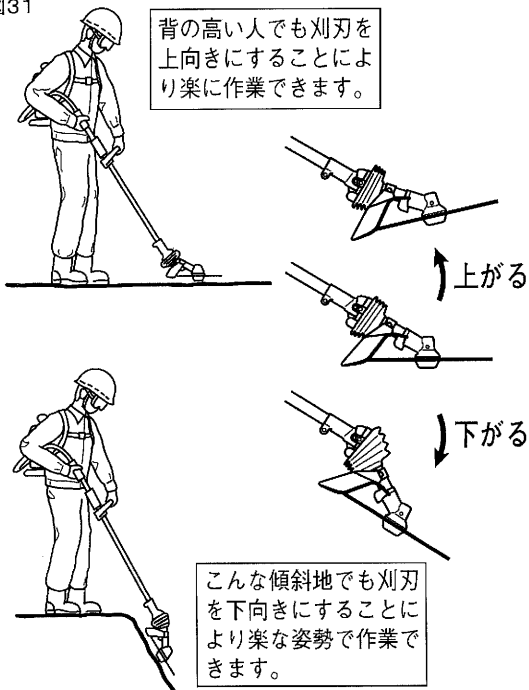
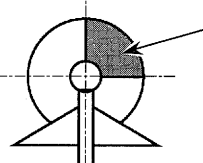
1. エンジンをかけ、暖機運転をしてからスロットルレバーをアイドリング位置に戻して刈刃が回転していないことを確かめてください。
2. 付近に人や障害物がないことを確認してから、左手でメインパイプのハンドルの先(刈刃側)の部分を握り、右側の背負いバンドを右肩にかけてください。
3. メインパイプを右手に持ち替え、左側の背負いバンドを左肩にかけてください。
4. 左右の背負いバンドを胸の前で連結してください。
5. 背当てが腰の少し上になり、重みが両肩に均等にかかるように左右の背負いバンドの長さを調節して身体になじませてください。
6. 付属の吊りバンドをお使いになると、腕が疲れにくく快適に作業できます。吊りバンドのフックを左右いずれかの背負いバンドとループハンドル取り付け部のハンガープレートに掛け、バンドを使いやすい長さに調節してください。

■ 緊急離脱ツマミの操作方法

緊急の場合、背負いバンドのフック部の凹部(1、2)を両側から指でつまんでください、背負いバンドが肩から外れ刈払い機が身体から離れます。

重 要	BKV2650は雑草専用刈払機です。太いかん木や竹の切り払い、山林の下刈り、徐伐などには絶対に使用しないでください。刈刃を幹や切り株に強く打ち当てると可変ケースが損傷したりメインパイプが曲がる恐れがあります。

■ 竿の操作

【BKV2650】

この刈払機は図の角度可変グリップを回すことにより先端のギヤケース部分の角度を変えることができます。

1. 可変グリップを右（時計回り）に回すと刈刃の角度が上方向に向き、左（反時計回り）に回すと刈刃の角度が下方向に向きます。
（上方向：約10°、下方向：約30°角度が変わります）

2. 身長や斜面に合わせて可変グリップを操作し刈刃を地面と平行にすることにより楽にきれいに刈ることができます。

危 険

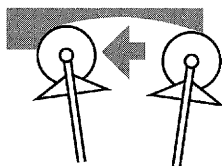
- 可変グリップは作業中操作しないでください、竿が不安定になり大変危険です。
- 可変グリップの操作は必ずエンジンを停止し、刃が止まったことを確認してから行ってください。

■ 刈払い作業

⚠ 警 告	金属刃使用時は、刈刃の右半分で草を切らないでください。キックバック(跳ね返り)が起きやすくなり、対応を誤ると重傷事故を招く危険があります。

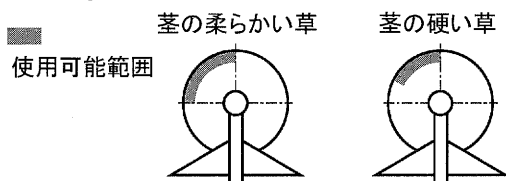
重 要	● ナイロンカッタ使用時はエンジンの回転を高速にしてください。 低速回転で使用するとクラッチが滑りやすくなり、摩擦熱でクラッチが損傷する恐れがあります。 ● ナイロンコードの長さは15cmが適切です。17cm以上の長さで連続作業しないでください。

金属刃使用時

● 刈刃を右から左に振りながら草を刈ってください。

● １回当たりの刈り込み量は普通の雑草で刃の直径の1／2、ススキやセイタカアワダチソウなど茎の硬い草では直径の1／3までとしてください。

使用可能範囲

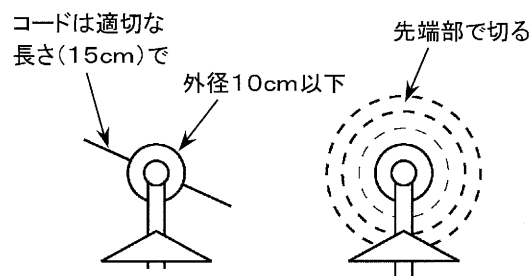
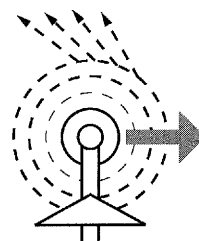
茎の柔らかい草

茎の硬い草

● エンジンの回転数は草の抵抗に合わせて調整してください。
畦草などの柔らかい草はスロットル半開程度で十分ですが、密生したヨモギやツル草などは回転を上げて刈るようにしてください。

重要 エンジン回転数が低過ぎると草が巻き付きやすくなるだけでなく、クラッチの早期摩耗の原因となります。

ナイロンカッタ使用時

● ナイロンコードは動力消費が大きいため、作業時のエンジン回転数は、金属刃使用時の５割増を目安にしてください。

● ナイロンカッタは、コードの先端部で草を切ります。コードの長さ分いっぺんに刈ろうとすると、回転が落ち切りにくくなります。
このような場合はいったん草から離し、回転を上げてから１回当たりの刈り込み量を浅くしてください。

● 刈刃を左から右の振りながら刈るようにすると、切りくずが身体から遠ざかる方向に飛びますので服の汚れが少なくなります。

点　検　整　備

注 意	● 点検整備時は必ずエンジンを停止してください。 ● 機体の改造やエンジンの分解はしないでください。 ● 部品交換時はゼノア純正部品または指定品を使用してください。 ● ご自身で点検整備できない場合は、お買い上げ店に依頼してください。

■ 作業前後点検

作業前後に次の点検を行ってください。

点	検	項　目	処　置
1	刈刃	・取付ボルトゆるみ ・割れ、欠け、チップ飛び、曲がり ・刃先磨耗	・締め付け ・交換 ・研ぎ直しまたは交換
2	ダストカバー	・破損、亀裂	・交換
3	飛散防護カバー	・破損	・交換
4	グリップ	・オイル付着	・ふき取り
5	スロットルレバー	・動きが悪い	・修理または交換
6	スロットルワイヤ	・遊び過大、過小 ・動きが悪い	・修正 ・修理または交換
7	燃料タンク	・燃料漏れ ・燃料パイプ損傷	・修理または交換 ・交換
8	背負いバンド	・破損、亀裂	・修理または交換
9	フレキシブルシャフト	・接続部のガタ、ゆるみ ・外周部の切れ、割れ、変色、変形	・修理または交換 ・交換
10	ギヤケース	・刈刃取付シャフトのガタ	・修理または交換
11	各締め付け部	・ゆるみ、脱落	・締め付け、修理

■ 定期点検

下記の使用時間毎に点検を行ってください。

点　検　整　備　項　目		使　用　時　間			備　考
		25時間	50時間	100時間	
エンジン	シリンダフィンのゴミ除去	○	○	○	
	エアクリーナエレメントの清掃	○	○	○	
	スパークプラグの清掃、調整	○	○	○	スキマ 0.6～0.7mm
	燃料タンクの清掃		○	○	
	シリンダ取付ボルトの増締め			○	
	エンジン各部の増締め			○	
	マフラカーボン落し			○	
	スイベルギヤケースグリース補給	○	○	○	
本体	ギヤケースグリース補給	○	○	○	
	クラッチドラム汚れ除去			○	
	フレキシブルシャフトグリース補給	○	○	○	
	可変ケース部からのグリース補給	○	○	○	

■ 刈刃

警 告	● 作業を安全に行うために、作業開始前と作業終了後には必ず刈刃の点検をしてください。刈刃のゆるみ、チップ飛び、ひび割れ、欠け、曲がりなどを放置して継続使用すると作業中に刈刃の破片が飛散し、作業者や付近にいる人に当たるなどして重大な人身事故を招く恐れがあります。 ● 刈刃点検時は必ずエンジンを停止してください。エンジンをかけたまま点検すると機体の転倒等により刈刃が回り出す恐れがあります。

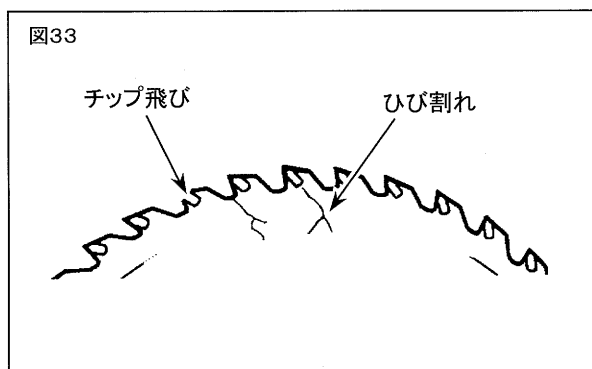
注 意	● 刈刃の点検や着脱をするときは必ずエンジンを停止し、丈夫な手袋を装着してください。素手で刈刃を取り扱うと負傷する恐れがあります。 ● 摩耗して丸くなった刈刃の研ぎ直しはお買い上げ店にご相談ください。 刃先の研磨作業(特にチップソー)は、特殊な作業ですので、適切な工具と研磨技術を必要とします。

重 要	刃先が摩耗して丸くなった刈刃の使用は、切れ味が悪く、草が巻き付きやすくなったり、作業時に腕にかかる負担が増えます。 また、機械の燃費や寿命にも悪影響を与えます。

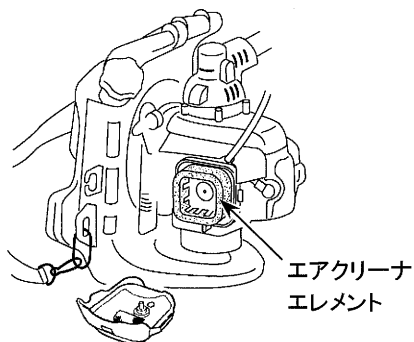
1. 刈刃を点検する前にエンジンを必ず停止してください。
2. 刈刃取付シャフトのガタ、取付ボルトのゆるみを点検し、ゆるみがある場合は確実に締め付けてください。
3. ご自身で正しく締め付けられないときはお買い上げ店にご相談ください。
4. 刈刃のチップ飛び、ひび割れ、欠け、曲がり、摩耗などの異常がないか点検し、異常がある場合は刈刃を新品と交換してください。
5. 刈刃交換時は、本機に設定された当社純正品を使用し、回転方向に注意して正しく取り付けてください。

図33

チップ飛び

ひび割れ

■ エアクリーナ

重 要	エアクリーナエレメントが詰まるとエンジンの出力が低下し、燃費が悪化します。また、エレメントを外して運転したり、変形・破損したエレメントを付けて運転を続けるとエンジン内部が異常摩耗します。

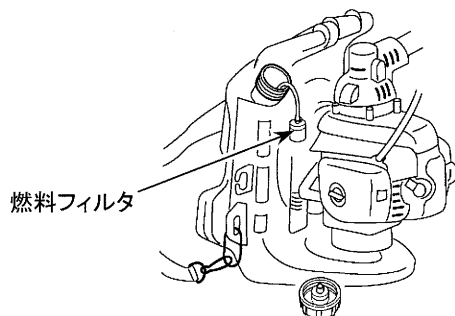
図34

使用２５時間毎を目安に、エアクリーナカバーを取り外して内部のゴミを取り除いてください。

エレメントの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りの温湯でていねいに洗い、よく乾燥させてから元通り取り付けてください。

エレメントが変形・破損した場合は新品と交換してください。

■ 燃料フィルタ

重 要	燃料フィルタが詰まるとエンジン回転が上がらなかったり回転変動を起こしたりします。

図35

使用２５時間毎を目安に、燃料タンクから燃料フィルターを取り出し、ゴミを取り除いてください。

汚れや詰まりがひどい場合は新品と交換してください。

■ スパークプラグ

注 意	エンジン停止直後は素手でスパークプラグにさわらないでください。 高温のためやけどを負う恐れがあります。

重 要	● スパークプラグの締め付けが強過ぎるとシリンダのネジ部が破損することがあります。プラグ締付け時は必ず付属のプラグレンチを使用してください。 ● 燃料を吸い込み過ぎたり、オイルの質が悪かったりするとスパークプラグの電極が汚れ、エンジンがかかりにくくなることがあります。 ● プラグ交換時は指定品を使用してください。指定外品を使用するとシリンダやピストンが破損することがあります。

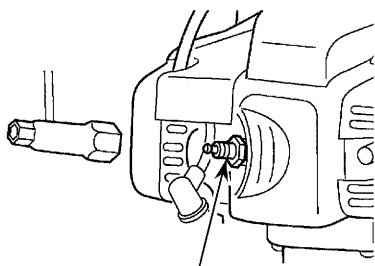
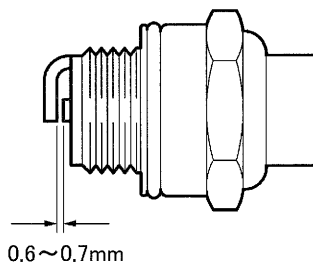
図36

使用２５時間毎を目安にスパークプラグを取り外して電極を点検し、汚れている場合はワイヤブラシなどで取り除いてください。

図37

● 電極間隙は0．6～0．7mmが適当です。

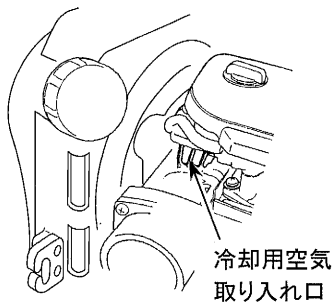
● プラグ取り付け時は、指でねじ込んでから、最後に付属のプラグレンチで締め付けます。

【締付トルク】
15．3～22．4N·m ｛150～220kgf-cm｝

● プラグ交換時は指定品を使用してください。

指定スパークプラグ	チャンピオン CJ－6Y または NGK BPM7A

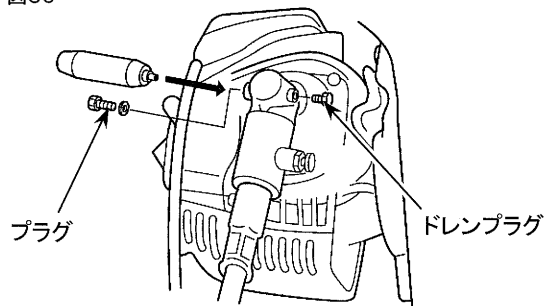
■ 冷却用空気通路

注 意	運転中は、冷却用空気取り入れ口に物を差し込んだりしないでください。 回転部品に触れる恐れがあり危険です。

使用２５時間毎に冷却用空気取り入れ口やシリンダの冷却フィン回りを点検し、付着したゴミを取り除いてください。

重要　**冷却用の空気取り入れ口やシリンダフィンの間にゴミが詰まるとエンジンが過熱し、故障の原因となります。**

■ ギヤケース

□エンジン側

□本機側

使用２５時間毎を目安に、ギヤケースに潤滑用グリースを補充してください。

【補充方法】

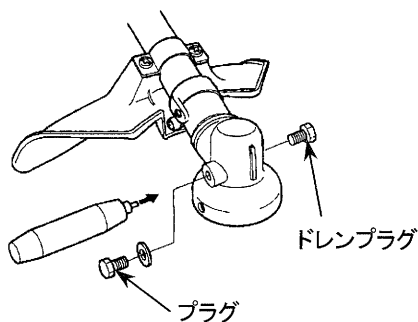
1. ギヤケース横のドレンプラグを取り外します。

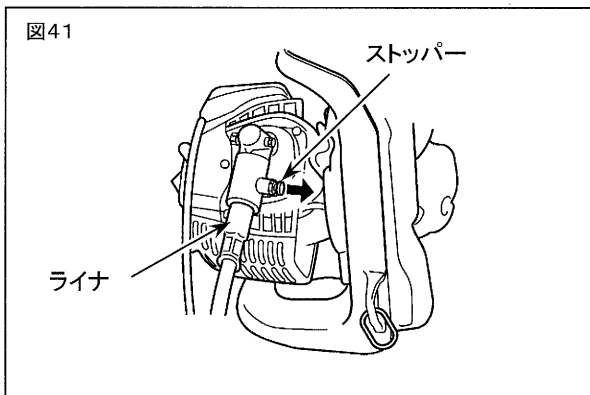
2. ギヤケース横のプラグを取り外し、チューブ入りグリースを注入します。

3. 古いグリースがドレンプラグの穴から押し出されたら補充を終え、プラグ及びドレンプラグを元通り取付けてください。

4. 押し出されたグリースを拭き取ってください。

指定グリース

ゼノア純正パワーグリース（品番：Z3180-96250）またはリチウム系耐熱用グリース（#2）

■ フレキシブルシャフト

□エンジン側

使用２５時間毎をめどにフレキシブルシャフトにグリースを補給してください。

【手　順】

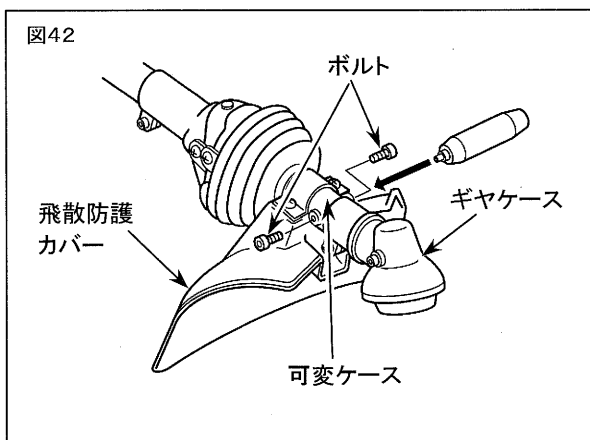
1. ストッパを引きあげながら、クラッチハウジングからフレキシブルシャフトを抜いてください。

2. ライナからインナシャフト引き出し、シャフトの表面にグリースを塗布してください。

指定グリース

ゼノア純正パワーグリース（品番：Z3180-96250）またはリチウム系耐熱用グリース（＃2）

□メインパイプ内　BKV2650DL／DB

重　要	本品はメインパイプ内にフレキシブルシャフトを使用しています。グリース不足になりますと、フレキシブルシャフトが発熱し、フレキシブルシャフトが破損する恐れがあります。

使用２５時間毎を目安に、可変ケースにグリースを補給してください。

【手　順】

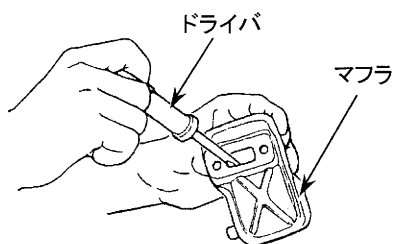
1. 可変ケース両側のボルトを取り外し、グリースを注入します。

2. 古いグリースが反対側の穴から押し出されたら補充を終えスクリュを元通り取り付けてください。

指定グリース

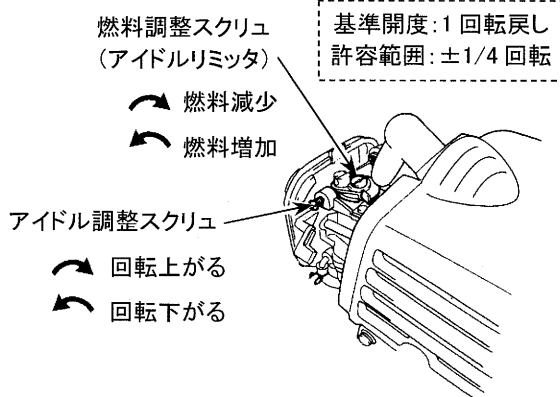
ゼノア純正パワーグリース（品番：Z3180-96211）またはリチュウム系耐熱用グリース（#0）

重要　**フレキシブルシャフトへのグリース補給は半年に一度あるいは使用50時間の割合で最寄りの販売店で行ってください。**

■ 100時間使用毎の手入れ

1. マフラを外して、排気口にドライバを入れてカーボンを落してください。同時にマフラ出口のカーボンも落してください。
2. 各締め付け部の増締めを行なってください。
3. クラッチのライニングとドラムの間に油がついていないか点検し、油がついている場合は、オイルの混ざっていない無鉛ガソリンで拭いてください。

■ エンジンの調整

⚠ 注 意	スロットルレバーをアイドリング位置にしたときに刈刃が回り続ける状態は危険です。アイドル調整スクリュを再調整しても直らない場合は、スロットルレバーやスロットルワイヤの作動不良、クラッチ故障などの可能性がありますので、お買い上げ店に点検修理を依頼してください。

重 要	● エンジンのアイドリング回転数は工場出荷時に調整されていますが、運転条件の変化(エンジンのなじみ具合、空気密度の変化等)により、再調整が必要となる場合があります。調整が必要な場合は、下記要領で行ないますが、不慣れな方はできるだけお買い上げ店に依頼してください。 ● スロットルワイヤはフレキシブルシャフトに平行に沿っていることを確認してください。ねじれている場合は直してください。 ● フレキシブルシャフト(エンジン側)を曲げるとスロットルワイヤの遊び量が変化します。アイドリング調整時は、フレキシブルシャフト(エンジン側)を曲げて作業時の姿勢に近い状態で調整してください。

アイドル調整スクリュ

スロットルレバーを最低速の位置にした時のエンジン回転数を調整するスクリュです。右(時計回り)に回すと回転が上がり、左(反時計回り)に回すと回転が下がります。

スロットルレバーを完全に戻した時刈刃が回り続けたりエンジンが止まってしまう場合は再調整してください。

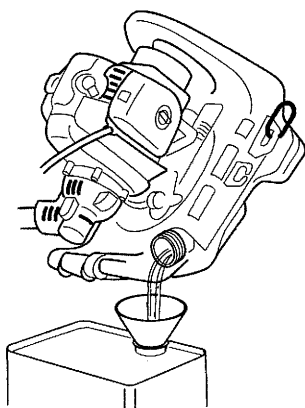
燃料調整スクリュ

燃料調整スクリュは出荷時に調整されています。通常は調整の必要はありませんが、運転条件の変化等により燃料消費が増えたり加速が悪くなった場合は、いったん締め込んでから基準開度に戻してエンジンをかけ、許容範囲内でエンジンの調子が最も良くなる位置(アイドリング時に刈刃が回らず、かつエンジンの回転が安定すること。また、加速時もたつきのない状態)にセットしてください。

■ 長期保管時の手入れ

⚠ 危 険	引火による火災の恐れがあります。 ● 燃料抜き取り時は、火気を遠ざけてください。 ● 燃料をこぼさないように注意し、こぼれた燃料は完全にふき取ってください。

重 要	● 長期間（2ヵ月以上）使用しない場合は、燃料タンクとキャブレタから燃料を抜いてください。燃料を入れたまま長期間放置すると燃料が変質してキャブレタ内部が詰まり、エンジン故障（始動不良や出力不足）の原因となります。 ● 保管時は、燃料タンクのキャップをゆるめにしてください。強く締め過ぎると経時変化によりパッキンが変形することがあります。

図45

1. 機体の汚れを落としながら、各部の損傷やゆるみなどの有無を点検し、異常が発見された箇所は次回の使用に備え完全に整備してください。
2. 燃料タンクから燃料を抜き取ってください。
3. キャブレタの始動ポンプを燃料が出なくなるまで押して、配管通路内の燃料を燃料タンクに戻してください。
4. もう一度、燃料タンクから燃料を抜き取ってください。
5. エンジンをかけ、自然に止まるまで運転してください。
6. スパークプラグを取り外し、2サイクルオイルを1～2mLエンジン内に入れてください。
   スタータロープを2～3回引いてからプラグを元通り取り付け、圧縮位置で止めてください。
7. スロットルワイヤなどの金属部に防錆油を塗った後、刈刃にカバーを取り付け、屋内の火気や湿気のない場所に、シート等をかけて保管してください。
8. フレキシブルシャフトはなるべくまっすぐ伸ばして保管してください。

故障のときは

現　　象	主　な　原　因	処　　置
エンジンが始動しない	・燃料不良(異質、劣化)	・正規燃料と交換(18頁)
	・燃料吸い込み過ぎ	・チョークを開き、スロットルを全開にしてロープを繰り返し引く(21頁)
	・マフラ排気出口詰まり	・マフラ清掃(33頁)
	・スパークプラグ電極汚損、短絡、断線	・電極清掃またはプラグ交換(30頁☆)
エンジンが加速しない	・燃料不良(異質、劣化)	・正規燃料と交換(18頁)
	・マフラ排気口詰まり	・マフラ清掃(33頁)
スロットルを戻すとエンストする	・アイドリング回転数が低すぎる	・再調整(33頁)
回転が変動する	・燃料フィルタ目詰まり	・燃料フィルタ清掃または交換(29頁☆)
異常振動	・刈刃変形、損傷	・刈刃交換(28☆)
燃費悪化	・エアクリーナ目詰まり	・エアクリーナ清掃(29頁)
	・刈刃切れ味低下	・刈刃交換(28☆)
	・フレキシブルシャフト潤滑不良	・グリース補給(32頁)

・上記処置を講じても現象が改善しない場合や、上記以外の不調現象が生じた場合は、お買い上げ店にご相談ください。

・☆印のついている処置につきましては、お買い上げ店で純正部品をお求めください。

危険

● 機械の改造や分解等はしないでください。運転時に機体が破損したり、燃料漏れや作動不良による不測の事故を招く恐れがあります。
● 点検処置時はタバコなどの火気を遠ざけてください。
燃料に引火する恐れがあります。
● 機体各部の締結部品(ボルト、ナット、ネジ類)は必ず純正品または指定品を使用してください。規格外品を使用すると、使用中に機体が破損したり部品が脱落したりして不測の事故を招く恐れがあります。

保　証　書

商品名・型式 ゼノアメ刈払機	□BK2650DL-EZ □BK2650DB-EZ □BKV2650DL-EZ	□BK2650DL-L-EZ □BK2650DB-L-EZ □BKV2650DB-EZ	エンジン製造番号	本体製造番号

ご購入者	おところ・電話番号	お買い上げ日（販売店記入） 年　　月　　日
	お名前	販売店名・電話番号（販売店記入） ㊞

お買い上げいただきました商品は厳重な品質管理のもとに製造されておりますが、万一、材質または製造上の欠陥により故障が発生した場合は下記規定に従って無料で修理させていただきます。

■ 保証の有効期間

この保証は未使用商品お買い上げ日から**満6ヶ月間**有効です。ただし、上記販売店記入欄が空白の場合は無効となりますので、お買い上げ時にご確認ください。

■ 保証手続

この保証による無料修理（以下、保証修理といいます）をお受けになる際は、商品に本書を添えてお買い上げ店にご持参ください。

■ 保証除外事項

次のいずれかの場合は保証修理または損失補填の責を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 取扱説明書記載の注意事項に従わなかったり、日常点検整備を怠った結果生じた故障
- 弊社の認めない改造およびそれらに起因する故障
- お買い上げ店または弊社特約店以外での修理およびそれらに起因する故障
- 商品分解状態でのお持ち込み
- 純正部品または指定品以外の使用に起因する故障
- 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
- 使用損耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
- 自然災害または事故、過失、不注意による機体の損傷
- 消耗部品および油脂類（刈刃、スパークプラグ、パッキン、ガスケット、エアクリーナエレメント、燃料フィルタ、ゴム部品、コントロールワイヤおよびこれらに類する消耗品、燃料、エンジンオイル、グリースおよびこれらに類するもの）
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）
- 商品が日本国外で使用される場合（This warranty is valid only in Japan.）

この製品の補修用部品の供給年限は製造打切後８年です。

- ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。
- 補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

コマツゼノア

本社：〒350-1192　埼玉県川越市南台 1-9
サービスG　☎(049) 243-1110
http://www.zenoah.co.jp/

1997年品質マネジメントシステム（規格ISO9001）審査登録
2002年川越・郡山工場環境マネジメントシステム（規格ISO14001）審査登録

北海道支店 ☎(0133) 73-0355	北陸営業所 ☎(076) 247-2141
東北支店 ☎(022) 235-4621	大阪支店 ☎(06) 6864-0065
東京支店 ☎(049) 243-6380	西部支店 ☎(086) 241-3632
東関東営業所 ☎(043) 432-0005	九州支店 ☎(092) 504-6261
中部支店 ☎(052) 792-7282	鹿児島営業所 ☎(0995) 63-1779

（平成17年1月現在）

848-BC0-93A0 (E5/A501) PRINTED IN JAPAN